JAM・P愛知
スローガン

JAM愛知青年協議会

Vol. 42
2018年4月10日（火）
JAM・P愛知 機関紙

SEARCH JAM東海

とえりゃ～元気！
JAM・P愛知

☆JAM・P愛知とはJAM東海(愛知)に集まる
次世代の労働組合を担う青年男女組合員育成を目的とした協議会の名称です。

2018
3.24～25

東日本大震災被災地（福島）視察報告

JAM東海青年協
視察団総勢２８名

2018年3月24日（土）～3月25日（日）、東海三県青年協で東日本大震災被災地（福島）を視察いたしました。
2011．3．11東日本大震災発生後、JAM東海は継続的に被災地を支援しています。そこで我々青年協議会も実際に現地へ行って感じたことを各単組へ持ち帰り、伝えていきたいと考え、今回の視察に行くことを決めました。私個人も、自らの目で見て耳で聴いて、肌で感じることで、インターネットやテレビの情報では知ることができないことを吸収し、自分の言葉で伝えられるようになりたいと思いました。

１日目は、ユラックス熱海（郡山市）を会場に、「東日本大震災追悼集会」が開かれました。JAM南東北福島県連絡会が主催で、二部構成でした。第１部追悼式では、震災当時の死にかけた体験談、中止にしかけた小学校の運動会を、東北の皆を元気付ける為にと決行した話、ここでしか聴くことができない話をたくさん聴きました。特に**『震災は忘れた頃にやってくる。のではなく、震災は忘れた頃に必ず！やってくる』**と、JAM南東北福島県連絡会の坂路会長が力強く言い放った一言がとても印象的で、またその姿が脳裏に焼き付きました。第２部追悼集会では、記念講話と記念ライブが行なわれました。記念ライブでは「アミーゴ・デ・川俣、ラ・パス」の皆さんが中南米の音を奏でてくれました。コスキン・エン・ハポンという福島県で開催されるフォルクローレの音楽祭での演奏を小学生の子どもたちが大人と交えて一生懸命に演奏していた姿が印象的でした。記念講話では、浜通りに桜を植える「ふくしま浜街道桜プロジェクト」の話に感動しました。これは避難した住民の方、子どもたちが帰って来たときに満開の桜で迎えられるように、と願いを込めて続けられており、２万本の桜の植樹を目指しているとのことです。とても良いプロジェクトと思い、会場で販売されているロゴ入りトートバッグ購入額の一部が桜の木の除草作業費等に充てられると聞いて、即購入しました。生地がしっかりしていて大切に使おうと思います。また、追悼集会終了後にはJAM福島の青年協議会の皆さんからご挨拶があり、全員で写真を撮影しました。

２日目は、何年も前からJAMで植樹してきた桜の手入れをしました。総植樹数はJAM桜30本、JAM南東北桜50本ですが、今回は国道6号線沿いの一部に肥料撒きやゴミ拾いを行いました。参加者全員、力が入り予定していた範囲を超えて行なっていました。一つでも多くのゴミを拾おう、桜が少しでも気持ちよくいられるようにしよう、こんな想いが一人一人から感じられました。また、桜の木々はそれに応えるかの如く、しっかりと根を張って立っており、これからどんどん成長していくのをまた見てみたいと思いました。
最後に、南相馬市伝承鎮魂祈念館へ行きました。入館前に、小高い丘の上にある慰霊碑の前に全員整列し、代表者が献花した後、黙祷をささげました。そして祈念館へ入ると、津波発生時の8分程の映像を観ました。当時、ニュースで見たことはありましたが、壮絶で言葉になりませんでした。建物、車や大木が津波に見る見るうちに飲み込まれていく一部始終を観ました。津波が堤防を破壊して乗り上げた瞬間、魔物が全身で町を覆っているように見えました。映像を観終えると、場内に展示された震災直後の写真や震災前の原風景の写真を一枚一枚目に焼き付けました。自衛隊の方が少女を救出して抱えて歩いている写真、埋もれている人がいないか車を一台一台確認している写真、津波に荒らされる前の福島の町や笑顔の人たちの写真がそこにはありました。祈念館のすぐそばには青い海が広がっていて昼間には浜辺を歩いているカップルや家族連れがいます。近くでは決壊した堤防を一から造っています。祈念館が津波が発生した海の目の前に建てられたのは、当時を思い出し忘れないようにという意味があるではと思いました。

ここに書き切れないほどの想いがまだまだありますが、とにかく今回の視察で多くの景色を見て、話を聴いて、**各々が色んな想いを募らせ、そしてその想いを伝えていくことが大切である**と感じることができた2日間でした。
今回は、福島県で視察をしましたが、他にも色んな場所で震災や災害について考えることができる機会があれば、青年協議会として関わることをこれからも続けていくことが大切と考えます。

報告者：JAM・P愛知 議長　松永 優樹（オークマ労組）

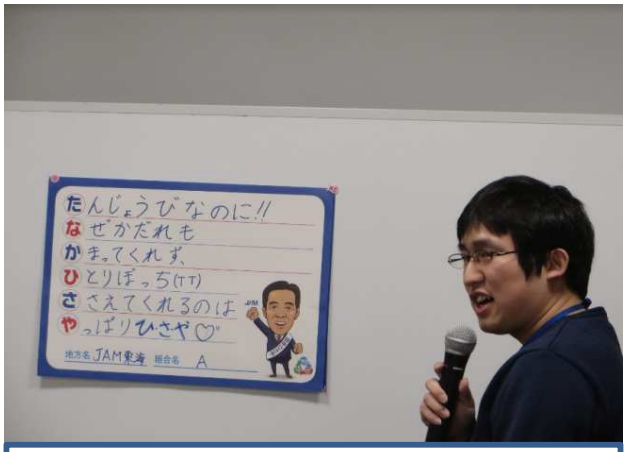
三県合同青年協議会役員セミナー報告

2018年2月23日（金）に、ホテルマイステイズ名古屋栄にて三県合同青年協議会役員セミナーを開催しました。三県合同青年協議会役員セミナーとは、JAM・P愛知が毎年開催している常任セミナーに岐阜・三重の青年協と協力し開催するセミナーです。今回の開催で3回目になります。

このセミナーを主催する『JAM東海青年活動連絡会議』では、各県青年協議会での取り組みの情報交換・意見交換を行い、相互の行事に参加する事で、『各県青年活動の強化と高位平準化』に取り組んでいます。

今回のセミナーの内容として、まず「労働組合と政治活動の必要性」（講師：平光担当執行委員）、②「JAM及び青年協議会とは」（講師：水野執行委員）、③「青年協議会・単組青年部に期待すること」（講師：山本執行委員）のテーマで講義を受けました。講義後はアイスブレーキングとして、「TANAボード」と言うJAM組織内議員候補の田中ひさや氏の名前であいうえお作文を作成し、発表を行いました。その後のグループディスカッションでは、「組合活動活性化の取り組みについて」をテーマに、4グループに分かれ意見交換・発表を行いました。発表では、組合活動にもっと興味を持ってもらうために、『積極的に呼びかける』、『参加してもらいやすい企画の立案』等、各グループで話し合った具体的な解決策が挙がりました。このセミナーを通して、講義を受けて学ぶだけでなく、**県を超えたつながりを深める**ことが出来ました。今回学んだことは、各単組の今後の組合活動に活かせるのではないかと思います。

講義の様子



「TANAボード」発表

グループディスカッションの様子

グループディスカッション発表

報告者：JAM・P愛知 機関紙担当常任委員

伊藤 智弥（名古屋電機工業労組）

2018スプリングセミナーを開催します

テーマ：理想の自分を引き寄せる「*目標達成のコツ*」

目標を決めても、続かない、達成できない！今年こそ目標達成しませんか？大谷翔平選手が一流プロ野球選手を夢見て自己改革を重ねてきたツールをもとに実践。ドリームボードを作って、見える化してみましょう！習慣＝自動化を活用して、心と視覚を活用した「意識・行動・習慣のプロセス」で運命を変えましょう！

また、セミナー終了後には単組の枠を超えた交流懇親会も行います！ぜひ参加して、仲間を広げていきましょう！

日時：2018年4月21日（土） 13：00～18：00（セミナ）／ ～20：30（交流懇親会）

会場：ホテルマイステイズ名古屋栄

過去のスプリングセミナーの様子

報告者：JAM・P愛知 スプリングセミナー担当常任委員

黒木 政裕（日本車両名古屋労組）・柴田 剛宏（豊和工業労組）・河原 孝明（オーエスジー労組）

プルタブ回収報告

JAM愛知青年協議会では、JAMが推進するボランティア活動の一つとしてハートエイド21活動を行っています。ハートエイド21という名前には、「ボランティアをする・されるといった垣根をなくした双方向ボランティアを理念とし、活動にたずさわった人すべての心が救われるような活動が展開される21世紀にしたい」という意味がこめられています。

具体的な活動内容として、募金活動やプルタブ回収に取り組んでおり、これまでは募金やプルタブを換金したお金で車椅子を購入して、施設へ寄贈する活動を行ってきました。今後の活動としては、福祉施設への寄贈など範囲を広げて活動していきます。

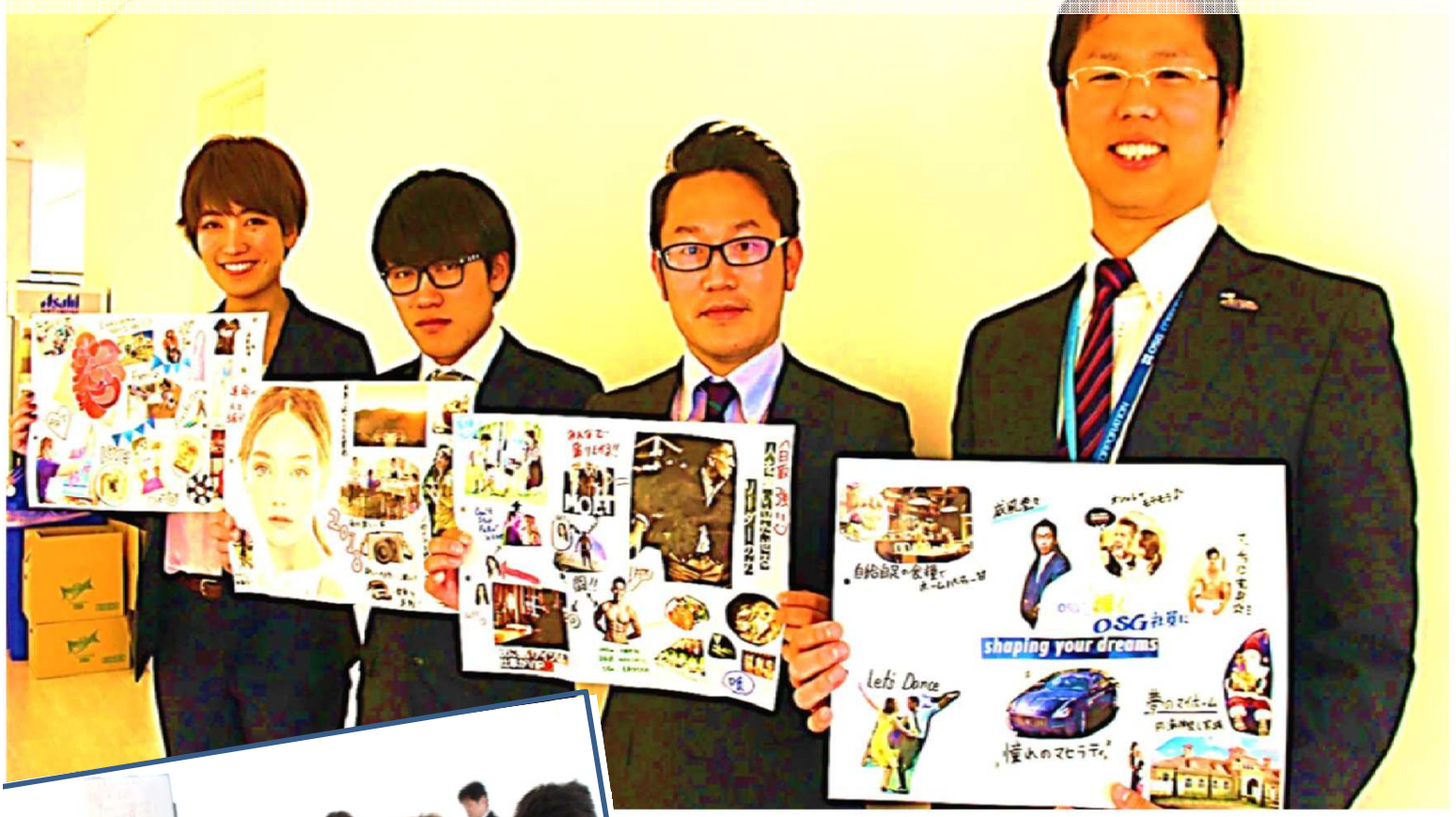
プルタブ回収について2018年2月末における回収状況を下表にて報告します。（単組毎に回収日時が異なり、現時点で回収できていない単組においては記載しておりません。）

皆様の単組におかれましても、今後も引き続きご協力の程宜しくお願い致します。

組合名	重量(g)	組合名	重量(g)	組合名	重量(g)	組合名	重量(g)
KYB	6,000	ミツトヨ中津川	6,700	日本トムソン岐阜支部	900	愛知時計電機	29,050
興和工業所	3,750	旭精機工業	3,300	CKD	1,350	ダイキン工業	3,900
ファインシンター春日井	11,550	豊和工業	6,500	エナジーサポート	10,350	オークマ	51,150
村田機械犬山	28,100	橋本電機工業	3,600	丸茂工業	7,900	オーエスジー	17,950
日本車両名古屋	12,250	武蔵精密	4,700	ダイベア	10,750	キクカワエンタープライズ	6,250
廣瀬精工	850	安田市議	5,700	**単組報告合計重量**	**232,550**	**実質合計重量**	**230,000**

換金額合計：￥32,292

あなたの夢を形に　ドリームボード



- 行動を変える習慣づけ
- 4観点による目標設定
- オープンウインドウ64
- ルーティンとジャーナル
- ドリームボード

目標を決めても、続かない、達成できない！今年こそ目標達成しませんか？大谷翔平選手が一流プロ野球選手を夢見て自己改革を重ねてきたツールをもとに実践。習慣＝自動化を活用して、心と視覚を活用した「意識・行動・習慣のプロセス」で運命を変えましょう！

【インストラクター】
オーエスジー株式会社
人財開発　山岡浩二・源裕子

新入社員からベテランの職制までを対象とした社内教育「ヒューマンスキルセミナー」のメインとなっているドリームボード。100人を超える社員が自分の夢を形にし、実現に向かって努力しています。

主催：JAM・P愛知青年協